

# 昭和41年度金沢大学学生募集要項

## 1. 募集人員

法文学部	法学科	約100名
	経済学科・文学科	約100名
		(計約290名)
教育学部	初等教育科	約100名
	中等教育科	約100名
	保健科	約2名
	職業科	約2名
	英語	約6名
	社会	約6名
	音楽	約4名
	美術	約4名
	家庭	約4名
	技術	約4名
理学部	数学科	約30名
	物理学科	約20名
	化学科	約20名
	生物学科	約20名
	地学科	約10名
		(計約100名)
医学部	医学部	約100名
	薬学部	約40名
工学部	土木工学科	約30名
	機械工学科	約60名
	工業化学科	約50名
	化学工学科	約50名
	電気工学科	約50名
	精密工学科	約40名
	電子工学科	約40名
		(計約335名)

## 2. 入学資格

- 高等学校を卒業した者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

## 3. 入学者選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、健康診断および出身学校から提出された調査書による。

### (1) 学力検査

学力検査は高等学校卒業の学力を標準として、次の表に示す5教科について行なう。

出願の際選択科目のものは表の区分により受験志望の科目をあらかじめ志願者名票により届け出なければならない。

選択した科目以外では受験できない。

旧課程卒業者は、数学については旧課程の科目(法文学部、教育学部は数学Ⅰ、数学Ⅱ。理学部、医学部、薬学部、工学部は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ)で受験してもさしつかえない。

数 科	科 目	区 分
国 語		法文学部の受験者は現代国語、古典乙Ⅰ、古典乙Ⅱとする。 教育学部、理学部、医学部、薬学部、工学部の受験者は現代国語、古典乙Ⅰとする。
社 会	「倫・社・政・経」 日本史 世界史B 地 理B	法文学部の受験者は2科目を選択する。 理学部、医学部、薬学部、工学部の受験者は1科目を選択する。 教育学部の受験者は別項による。
数 学		法文学部、教育学部の受験者は数学Ⅰ、数学ⅡBとする。 理学部、医学部、薬学部、工学部の受験者は数学Ⅰ、数学ⅡB、数学Ⅲとする。
理 科	物 理B 化 学B 生 物B 地 理B	法文学部の受験者は1科目を選択する。 理学部(物理学科を除く)の受験者は2科目を選択する。 理学部物理学科、医学部、薬学部、工学部の受験者は物理B、化学Bの2科目指定とする。 教育学部の受験者は別項による。
外 国 語	英 語B ドイツ語	1か国語を選択する。

- 教育学部の受験者(体育科および特別体育科の志願者を除く)は「社会2科目・理科1科目」または「社会1科目・理科2科目」のいずれかを選ぶものとする。体育科、特別体育科の受験者は「社会1科目・理科1科目および保健体育(体育実技)1科目」を受けるものとする。
- 教育学部中等教育科の音楽、美術の志願者および養護教育科中等部と養護教育科中等部の美術の志願者(第2志望とするものも含む)はそれぞれ「志望教科の実技テスト」を受けなければならない。(実技テストの要領は裏面「教育学部について」参照)
- 旧課程の卒業生で理学部物理学科、医学部、薬学部、工学部を受験するものも理科の科目は物理B、化学B以外では受験できない。

## 学力検査日時

日 時	午 前	午 後
3月3日(木)	国 語 (9.30~11.30)	社 会 (1科目 1.00~2.30) 2科目 1.00~4.00)
3月4日(金)	外 国 語 (9.30~11.30)	理 科 (1科目 1.00~2.30) 2科目 1.00~4.00)
3月5日(土)	数 学 (9.30~12.30)	実技テスト 1.30から 健康診断(要再診者) 1.30から

## 学力検査場

本学各学部、教養部、付属高等学校および金沢市内公立高等学校とする。

受験者の配分、教室の配置等詳細については3月2日(試験前日)各志願学部において掲示するから、それにより承知されたい。

## (2) 健康診断

- 提出された健康診断書によつて審査し、必要と認める者について本学で健康診断を行なう。これに関する事項および診断を要する者の受験番号は3月5日学力検査終了時までに検査場に掲示する。該当者が診断を受けないときは、入学資格を失う。
- 合格者については、入学式の前日あらためて本学において必要な健康診断を行なう。診断の結果、就学に支障があると認めた場合および理由なく診断を受けないときは、入学許可を取り消す。

## (3) 調査書

- 文部省所定の様式により出身学校で作成したもの(氏名上の欄外に志願学部を記入のこと)。志願者から直接出願書類を提出する場合は、学校長において厳封を要する。
- 大学入学資格検定試験の合格者は、当該試験の成績証明書を提出して調査書に代える。
- 調査書の提出困難な学校(廃校、罹災等)の出身者は、その旨を証明した書類をもつて調査書に代える。

## 4. 合格者発表

合格者の氏名は、3月20日までに本学学生ホールに発表し、かつ郵便で本人あて通知する。

## 5. 出願手続

### (1) 願書受付期間

昭和41年2月1日から昭和41年2月10日まで、毎日午前9時から午後5時まで、ただし土曜日は正午までとし、日曜日を除く。

郵送による場合も所定期日までに必着を要する。

### (2) 願書提出先

各志願学部学生係あて提出すること。

法文学部	金沢市丸の内1	医学部	金沢市宝町13
教育学部	金沢市丸の内1	薬学部	金沢市宝町13
理学部	金沢市丸の内1	工学部	金沢市小立野2丁目

### (3) 志望順位

次の学部では、同一学部内で第2志望の出願もできる。

教育学部……別項(裏面「教育学部について」参照)

理学部……学科別

### (4) 提出書類および要領

入学志願者は、次の書類を一括して出身学校を経由し所定期日までに到達するよう提出しなければならない。ただし事情止むを得ない場合は、出願書類を直接志願者が提出し、出身学校へ関係書類の提出を依頼するようにしてもさしつかえない。

- 志願者名票 本学所定の用紙による。
- 写真2葉 正面半身脱帽で出願前3か月以内に撮影したものを本学所定の用紙にのり付けする。
- 入学検定料 金1,500円(現金のこと)
- 調査書 3の(3)参照
- 健康診断書 本学交付の用紙により国公立の病院、日本赤十字病院または保健所の医師の診断によるものに限る。受験票等送付のため、自己の住所氏名を明記し10円切手をはつたもの。
- 封筒1枚

(注) 1 出願当時大学に在籍するものは、当該大学の受験許可書を添付すること。

2 外国人の志願者は、出願書類と共に外国人登録証明書の写を提出すること。

- 注 意
- 出願書類を郵送する場合は、封筒の表に「入学願書」と朱書きし、必ず書留郵便として志願学部へ提出すること。
  - 出願手続後はいかなる事情があつても書類の変更、検定料の払い戻しはしない。
  - 出願手続に不正の事実があつた場合は、入学許可を取り消す。
  - 郵便で願書を請求するものは、自己の住所氏名を記載し、10円切手をはつた封筒を同封して「金沢市丸の内1 金沢大学学生課教務係」あて申し込むこと。
  - 受験に関し本学に照会の際は、志願学部、受験番号を記入し往復はがき、または返信用封筒(あて名を明記し切手をはつたもの)を同封のこと。電信電話等による問い合わせは一切応じない。

昭和40年10月

金 沢 大 学

# 金沢大学入学志願者のための案内

## 1 身体的疾患および色覚異常について

本学への志願者は、自己の身体条件を考えて次の各項にわたり熟読の上あらかじめ専門的検査を受けておくことが望ましい。

### 1 次の疾患を有する者は入学を許可しない。

- (1) 全治の見込みがないか、または再発のおそれの多い精神機能障害
- (2) 急治の見込みのない伝染性疾患（特に結核）

- 2 学部、学科によつては学修上支障があると認められる、極度の運動機能障害・奇形、著しい言語障害・聴力障害・視力障害（基準：1眼あるいは両眼をもつていても裸眼あるいは矯正視力が0.6に達しないもの）のある者は入学を許可しない。
- 3 強度の色覚異常者（アノマロスコープにより色盲または極度色弱と判定されるもの）は次の学部、学科または専攻教科の履修が困難であるから入学を許可しない。

教育学部 初等教育科、中等教育科（理科・美術・保健・技術・家庭・職業の専攻教科）、養護教育科、聾教育科の初等部および中等部（美術・保健・技術・家庭の専攻教科）、体育科、特別体育科

理学部 物理学科・化学科・生物学科・地学科

医学部

薬学部

工学部

## 2 法文学部について

- 1 哲学科、史学科および文学科については、学科別に募集せず一括して入学者を選抜する。哲学科、史学科および文学科に出願する者は名票志望学科欄に「哲・史・文学科」と記入すること。入学者は専門課程進学の際あらためて、3学科内の専攻課程から志望課程を選び分属する。この際定員を超過するときは選考のうえ分属を決定する。

なお哲学科、史学科および文学科の専攻課程ならびに学生定員は次のとおりである。

哲学科（哲学専攻・心理学専攻・社会学専攻） 約 20 名

史学科（国史専攻・東洋史専攻・西洋史専攻・地理学専攻） 約 20 名

文学科（国語国文学専攻・英米文学専攻・ドイツ文学専攻・言語学専攻） 約 50 名

- 2 学部所定の課程のほか教職科目を履修した者は所定の教科につき中学校教諭一級普通免許状および高等学校教諭二級普通免許状を取得することができる。

## 3 教育学部について

- 1 初等教育科は小学校教員養成課程。小学校教諭一級普通免許状のほか1教科の中学校二級普通免許状または幼稚園教諭一級普通免許状を取得することができる。  
中等教育科は各教科の中学校および高等学校教員養成課程。専攻する1教科の中学校教諭一級普通免許状および高等学校教諭二級普通免許状のほか希望により他の1教科を選んで中学校教諭二級普通免許状を取得することができる。  
養護教育科は養護学校教員（精薄児等の教員）養成課程。初等部は養護学校教諭一級普通免許状および小学校教諭一級普通免許状を取得することができる。  
聾教育科は聾学校教員養成課程。初等部は聾学校教諭一級普通免許状および小学校教諭一級普通免許状を取得することができる。  
中等部は聾学校教諭一級普通免許状および1教科の中学校教諭一級普通免許状と高等学校教諭二級普通免許状を取得することができる。  
体育科は保健体育の高等学校教員養成課程。高等学校教諭二級普通免許状および中学校教諭一級普通免許状（保健体育）を取得することができる。  
特別体育科は保健体育の中学校および高等学校教員養成課程。中学校教諭一級普通免許状および高等学校教諭二級普通免許状（保健体育）のほか特定の教科の中学校教諭二級普通免許状を取得することができる。
- 2 初等教育科の志願者は養護教育科初等部または聾教育科初等部を第2志望として選ぶことができる。
- 3 中等教育科の志願者は志望学科欄に中等教育科の1志望教科のみ記載する。ただし養護教育科中等部または聾教育科中等部の1教科を第2志望として選ぶことができる。
- 4 体育科および特別体育科の志願者は互に他を第2志望として選ぶことができる。
- 5 音楽の実技テストは歌唱（ヴェルナーのコールユーブンゲン巻1から8までの中から1曲を当日指定）および器楽（ピアノ・管楽・弦楽の3つのうち、いずれか1つを選び自由曲1曲）を課する。美術の実技テストは石膏デッサン（鉛筆による）を課する。

## 4 理学部について

学部所定の課程のほか、教職科目を履修した者は学部所定の教科につき中学校教諭一級普通免許状および高等学校教諭二級普通免許状を取得することができる。

## 5 工学部について

工学部の志願者（精密工学科・電子工学科の志願者を除く）は工業教員養成課程の志望有無を名票裏面の記入欄へ必ず表示すること。  
工業教員養成課程を修める者は土木工学科約3名、機械工学科約4名、工業化学科約3名、化学工学科約2名、電気工学科約3名計約15名であつて各学科それぞれ所定の課程を履修することは他の学生と同じであるが、日本国憲法2単位、職業指導4単位を必修しなければならない。これにより高等学校教諭二級普通免許状（工業）を与えられるが、卒業後教員になる義務はなく、他の卒業生と同じである。  
工業教員養成課程以外の者でも入学後、学部長の承認をうけて上記の科目を修め同一免許状をうけることができる。

## 6 学資について

- 1 入学の際の費用としては、入学科1,500円、授業料1期分6,000円（年額12,000円を2期に分納）、学生健康保険組合費4か月分4,000円ただし6年課程（医学部）は6,000円を納入しなければならない。
- 2 理学部・医学部・薬学部・工学部等の理科学部では、実習用器材等の購入のため、一般教養課程では年額1,000円から2,000円、専門課程においては、年額3,000円から5,000円位が必要である。
- 3 専門課程に入ると専門図書、研究旅行、実習等の出費が不定期に必要となる場合がある。
- 4 寮費および下宿費  
寮費は二食付約4,000円、下宿費は二食付約8,500円程度で、入寮者は学費、寮費および中食費とも1か月約10,000円、下宿者は約15,000円程度が普通である。  
入学者で本学の寮へ入寮できる数は希望者の一部（男子約70名、女子約40名）である。
- 5 奨学金制度については、入学許可通知の際詳細連絡する。

## ◎宿泊斡旋について

遠隔地の受験者に対しては例年宿舎を斡旋しているが、申込み方法等詳細なことは、受験票等送付の際連絡する。